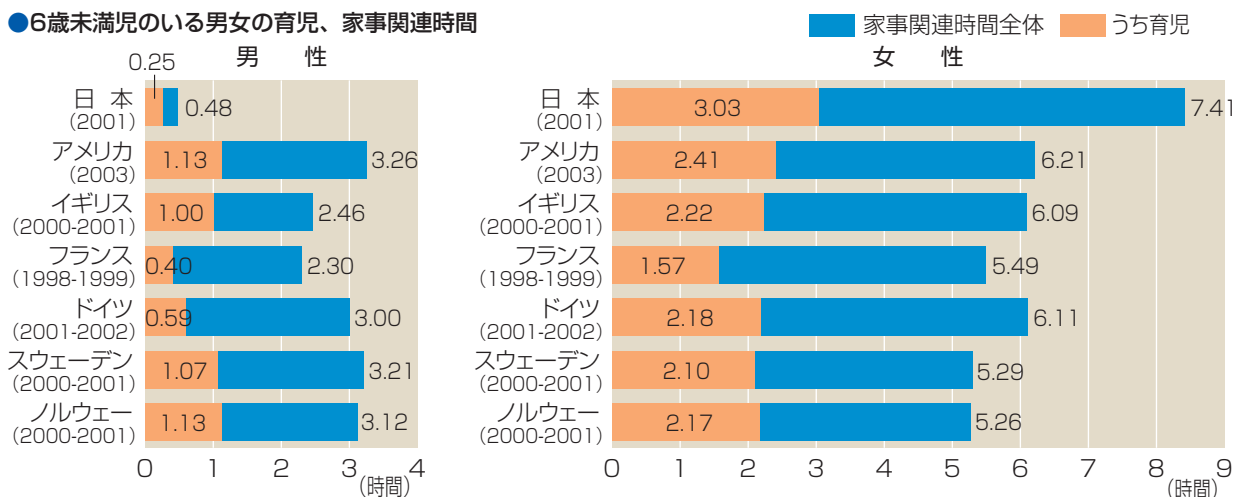


- 我が国の男性の家事・育児に費やす時間は世界的にみても最低の水準であり(図4)、その負担は女性に集中しています。
- 女性が育児休業を利用しなかった最大の理由は「職場への迷惑」であり、育児休業制度が十分に活用されるためには、職場優先の風潮、長時間労働環境の見直しが必要とされています(図5)。

図4 男性の家事・育児時間

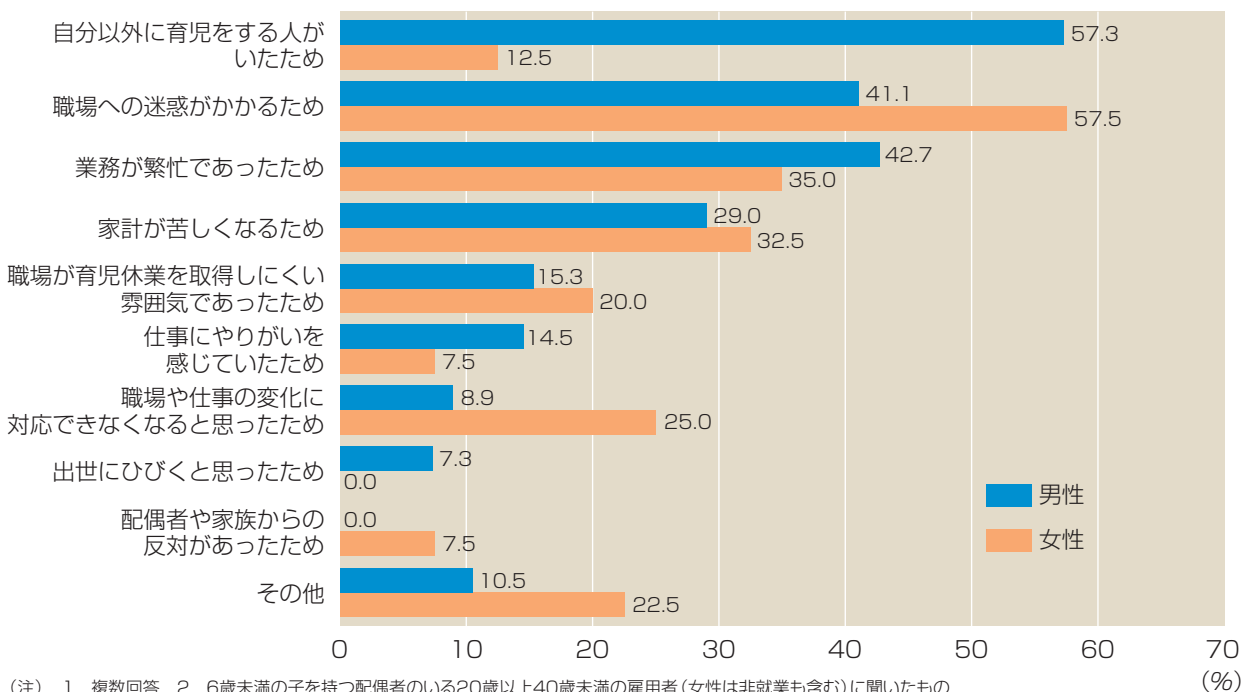
● 6歳未満児のいる男女の育児、家事関連時間



(注) 各国調査で行われた調査から、家事関連時間(日本:「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」の合計、アメリカ:「Household activities」、「Purchasing goods and services」、「Caring for and helping household members」、「Caring for and helping non-household members」の合計、欧州:「Domestic Work」と、その中の育児(Childcare)の時間を比較した。

資料: Eurostat 「How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men」(2004)、Bureau of Labor Statistics of the U.S. 「America Time-Use Survey Summary」(2004)、総務省「社会生活基本調査」(平成13年)

図5 育児休業を利用できなかったのに取得しなかった理由



(注) 1 複数回答 2 6歳未満の子を持つ配偶者のいる20歳以上40歳未満の雇用者(女性は非就業も含む)に聞いたもの

資料: ニッセイ基礎研究所「男性の育児休業取得に関する研究会報告書」(平成15年)